

ねくはふり
くはふり
くはふり
くはふり
くはふり
くはふり
くはふり
くはふり

改年くまふり

うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり

うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり

うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり

うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり

うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり

うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり
うまふり

豊臣秀吉書状

(花押状)

乙酉十南の廿

信長ノ命ニヨリ秀吉中國陣ノ陣中ヨリ送リタル書状ニシテ秀吉カ
別平氏ノ三木城ヲ攻メタル時ノ報告書トモ云フ可キモノ也世ニ名高キ秀
吉ノ一ツ書キノ報告ノ一原本ノ一ツ也書中ニ曰ク「同十日子刻ニ三木本城ニ一重ニル
驛山ニテ構架崩并別所ニ至近城同山城守在城架破首又数多ヲ捕ム」豊臣公ノ直目躍
如タリ。別條(別條條々即)トセルモ可注目。但シ初メノ猶々書キニハナク後世ノ入墨アル歟。

